

平成29年度

事業計画書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会	
社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念	2
法人本部	
手稲ロータス会 法人本部	4
特養手稲	
職員内部研修計画	6
介護老人福祉施設 手稲ロータス	8
各種会議・委員会	9
年間行事予定	9
年間行事予算	10
手稲ロータス（介護予防）通所介護事業所	11
年間会議予定	12
年間行事予算	12
（介護予防）認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう	14
年間会議予定	15
年間行事予算	15
老健手稲	
職員内部研修計画	17
介護老人保健施設 手稲あんじゅ	19
各種会議・委員会	20
年間行事予定	20
年間行事予算	21
手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所	22
年間会議予定	23
年間行事予算	23
手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	24
手稲あんじゅ指定居宅介護支援事業所	26
手稲あんじゅ（介護予防）訪問介護事業所	27
手稲あんじゅ居宅介護事業所・	
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置	28
年間会議予定	29
介護予防普及啓発事業予定・予算	29
特養音更	
職員内部研修計画	31
介護老人福祉施設 ロータス音更	33
各種会議・委員会	35
年間行事予定	35
年間行事予算	36
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所（標準型・認知症対応型）	37
年間会議予定（標準型）	38
年間行事予算（標準型）	38
年間会議予定（認知症型）	39
年間行事予算（認知症型）	39

老健音更

職員内部研修計画	41
老人保健施設 あんじゅ音更	43
各種会議・委員会	45
年間行事予定	45
年間行事予算	46
あんじゅ音更（介護予防）通所リハビリテーション事業所	47
年間会議予定	48
年間行事予算	48
あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	49
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	51

社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員
の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこま
やかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

○ご利用者様の笑顔のために

- ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
- ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します

○ご家族様の笑顔のために

- ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
- ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します

○地域の皆様の笑顔のために

- ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
- ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
- ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
- ・環境にやさしい施設運営を目指します

○職員の笑顔のために

- ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
- ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

手 稲 口 一 夕 会 法 人 本 部 事 務 局

手稲ロータス会 法人本部

各事業所が専門性を発揮しつつ、法人が1つの組織体として機能し、全体的にバランスのとれた体系が築けるよう、体制の確保に努める。

《重点推進課題》

1. 新たな給与・人事評価制度の構築

引き続き「職種・職位」に応じた新たな給与制度及び給与制度にリンクした人事評価制度の構築へ向けて準備を進める。

【指標・評価方法】

- ① 目標管理を組み合わせた人事評価の仕組みを整え、平成 30 年度実施に向けてモデル実施、試行実施に取り組む。
- ② 新たな給与表の平成 31 年度実施を目標に、現行案の介護一般職員の給与表の妥当性を再評価し、これを土台に職位、職種に応じた給与表を作成する。平行して、現行 104 日の年間休日数を当面 110 日に増加することを目指す取り組みを始める。

2. 会計監査人の導入準備

公認会計士による監査が制度化されたことに伴い、会計監査人の円滑な導入に向けての事前準備を行う。各事業所にヒアリングを行い、下記の課題を解決していく。

- ① 業務手順の組織としての共通化
- ② 会計処理の根拠資料検証可能な状態での整理
- ③ 発生主義で会計処理を行うために必要な情報の収集
- ④ 固定資産台帳に記載されている資産の確認
- ⑤ 貯蔵品の在庫記録及び未使用分の定期的な確認
- ⑥ 入所者の預り金等の適切な管理

【指標・評価方法】

- ① 各種マニュアルの整理および「情報バンク」への反映
- ② 各種資料や資産および在庫の確認
- ③ 預り金等現金の適正な管理の確認

特 養 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ロータス)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	救急救命法について	看護主任
5月	非常災害時の対応について	生活相談員
6月	感染症（食中毒）の予防と蔓延防止について	管理栄養士
7月	事故防止について（第1回）	介護主任
8月	高齢者虐待及び身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
9月	個人情報（プライバシー）の保護について	生活相談員
10月	感染症の予防と蔓延防止について	看護主任
11月	看取り介護（ターミナルケア）について	看護主任
	痰の吸引及び胃ろうの対応について	看護主任等
12月	認知症高齢者について	介護主任
1月	褥瘡予防及び対策について	褥瘡防止委員会
2月	事故防止について（第2回）	事故防止委員会
3月	職業倫理、法令遵守（コンプライアンス）について	生活相談員
その他	新規採用職員研修	各担当職員
	外部研修報告会	研修報告

(手稲ゆうゆう)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	事故・ヒヤリハットの分析と対策（平成28年度集計より）	事故対策委員
5月	接遇について	管理者
6月	感染症（食中毒）と蔓延防止策について	管理者
7月	認知症ケアスキルアップ研修	管理者
8月	倫理・法令順守について	管理者
9月	ケアプランについて	計画作成者
10月	高齢者虐待・身体拘束廃止について	外部研修参加者
11月	感染予防対策について	ロータス看護主任
12月	「食事」について考える	計画作成者
1月	個人情報、プライバシーの保護について	管理者
2月	認知症ケアスキルアップ研修	計画作成者
3月	介護職のための医療知識、救急対応について	管理者
その他	新規採用職員研修	管理者 介護主任

特別養護老人ホーム 手稲ロータス

手稲ロータス（介護予防）通所介護事業所

介護老人福祉施設 手稲ロータス

特別養護老人ホームで安心した生活を送り、最後までその人らしい人生が送られるように支援し、終の住み家としての役割を目指していきます。

《重点推進課題》

1. 看取り介護(終末ケア)への取り組み

特別養護老人ホームにおける看取り介護の必要性を理解し、手稲ロータスでの看取り介護(終末ケア)を実践していく。

【指標・評価方法】

- ①看取り介護の準備を進める。
 - ・施設内研修の開催
 - ・外部研修への参加
 - ・看取り介護の事例検討
- ②看取り介護の実践を行う。
 - ・看取り介護が必要となった場合に、家族への意思確認実施
 - ・看取り介護の個別対応方法検討、カンファレンス実施

2. 誤嚥性肺炎の発症ゼロを目指す

生活の中で重要な食生活を安全にかつ充実したものとなるよう、食事についての個別ケアを実施していく。

【指標・評価方法】

- ①誤嚥性肺炎の発症を予防する。
 - ・座席の再検討、現状の備品(テーブル・椅子等)を活かし、食事環境を整える
 - ・個々の食事摂取姿勢、使用物品(箸・スプーン・食器等)を再評価する
 - ・口腔ケア方法の見直し
- ②食事摂取方法の理解を深める。
 - ・食事、嚥下について施設内研修の実施
 - ・外部研修への参加

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	合同会議	毎月最終 水曜日 13:30～
	職員会議	5月・11月 平日18:00～
	処遇会議	毎月最終週 平日18:00～
	主任会議	毎月第3週 平日15:00～
	運営会議	毎月第1週 平日17:30～
	リーダー会議	毎月第3週 平日18:00～
	医務会議	毎月1回
	サービス担当者会議	随時
	入所検討委員会	4月・7月・10月・1月に実施
委員会	感染症対策委員会	毎月第3週 平日15:00～
	褥瘡予防委員会	毎月第2週 平日13:00～
	身体拘束廃止委員会	毎月第2週 平日18:00～
	事故防止検討委員会	毎月第2週 平日18:00～
	接遇委員会	毎月第3週 平日18:00～
	研修委員会	毎月第3週 平日18:00～
	給食委員会	毎月第3火曜日
その他	嚥下事故防止検討会	12月22日 18:00～
	感染予防検討会	2月16日 18:00～

年間行事予定

月	日	行 事	内 容
4月	12	外食デー	施設外での外食を楽しむ。
5月	14	母の日	女性入所者の母の日を祝う。
	17	お花見	桜の鑑賞を楽しむ。
	24	外食デー	施設外での外食を楽しむ。
6月	1	開設記念祝賀会	開設記念を入所者と家族を招いて祝う。
	18	父の日	男性入所者の父の日を祝う。
	21・26・29	バスレク	札幌圏内の公園や施設への外出と外食を楽しむ。
7月	5	バスレク	札幌圏内の公園や施設への外出と外食を楽しむ。
	19	大運動会	綱引き、玉入れ等紅白に分かれて実施。
	26	外食デー	施設外での外食を楽しむ。
8月	5	手稲ロータス会夏まつり	ロータス会合同実施。出店やイベントを催す。
	9	盂蘭盆会	合同慰霊祭。
	30	外食デー	施設外での外食を楽しむ。
9月	16	敬老祝賀会	家族も参加し長寿を祝う。
	27	外食デー	施設外での外食を楽しむ。
10月	18・25	紅葉狩り	紅葉の鑑賞と外食を楽しむ。
11月	1・8	紅葉狩り	紅葉の鑑賞と外食を楽しむ。
12月	13	もちつき大会	杵と臼でもちつきをし、食事をする。
	25	クリスマス会・忘年会	親睦を図り一年の労をねぎらい、クリスマスツリー等で飾りをし、夕食を楽しむ。
1月	1	新春茶話会	新年を祝い、お茶やお菓子を用意し職員と一緒に楽しむ。
2月	3	節分(豆まき)・節分会	干支歳の利用者による豆まき等。
	7	雪まつり見学	大通公園で大雪像を觀賞する。
3月	7	お好み寿司	握りたてのお寿司を楽しむ。
	21	相撲大会(春場所)	職員による相撲大会。

【備考】

- ※「買物外出」小グループで実施。(2か月に1回以上)
- ※「個別外出」小グループで実施。
- ※「誕生祝」毎月その方の生まれた日にお祝いを行う。
- ※「ホームスナック」5月・7月・10月・1月に実施。
- ※「書道クラブ」毎月第1水曜日に実施。
- ※「華道クラブ」毎月第3土曜日に実施。
- ※「俳句クラブ」毎月第2木曜日に実施。
- ※「ひだまりの会・すみれ会・山喫茶」小グループでレクリエーション等の実施。
- ※「避難訓練」年2回(6/28【10:30～】・11/29【10:30～】)実施。

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	外食デー	12日	施設外での食事を楽しむ	食事代職員分 740 × 5人	3,700		3,700
5月	母の日	14日	母の日メッセージ・カーネーション	カーネーション 300 × 65人 往復葉書代 104 × 60人 菖蒲湯 5,000		19,500 6,240 5,000	
	外食デー	24日	施設外での食事を楽しむ	食事代職員分 740 × 5人	3,700		34,440
6月	開設28周年記念	1日	開設28周年記念行事 祝賀会の実施	入所者食事代 400 × 75人 御家族食事代 450 × 50人 飲物代他 30,000 往復葉書代 104 × 70人 記念品代 400 × 200人 装飾費等 20,000	30,000 22,500 30,000	7,280 80,000 20,000	
	父の日	18日	父の日メッセージ・プレゼント	プレゼント代 300 × 15人 往復葉書代 104 × 10人		4,500 1,040	
	バスレク	21・26・29日	札幌圏内の公園や施設から選択 昼食は外食、小グループで実施	食事代職員分 740 × 10人 施設利用代 15,000	7,400	15,000	217,720
7月	バスレク	5日	札幌圏内の公園や施設から選択 昼食は外食、小グループで実施	食事代職員分 740 × 5人	3,700		
	大運動会	19日	食堂にて紅白チーム対抗戦 (玉入れ、綱引き等)	装飾費・競技備品等 5,000 景品代 15,000		5,000 15,000	
	外食デー	26日	施設外での食事を楽しむ	食事代職員分 740 × 5人	3,700		27,400
8月	ロータス会夏祭り	5日	手稲あんじゅと合同で実施	模擬店材料代・飲物代 250,000 ボランティア食事代 400 × 40人 往復葉書代 104 × 70人 装飾費等 50,000 お供え等 5,000	250,000 16,000	7,280 50,000 5,000	
	盂蘭盆会 外食デー	9日 30日	盂蘭盆会(合同慰霊祭) 施設外での食事を楽しむ	食事代職員分 740 × 5人	3,700		331,980
9月	敬老祝賀会	16日	敬老週間で、日頃の作品を展示 敬老祝賀会の実施 (感謝状・米寿・喜寿・白寿・百歳以上の方)	入所者食事代 400 × 75人 御家族食事代 450 × 50人 飲物代他 30,000 往復葉書代 104 × 70人 装飾費等 20,000 記念品代(入所者のみ) 650 × 75人 記念品代(賀寿) 2,000 × 3人 記念品代(90歳以上) 1,100 × 30人 食事代職員分 740 × 5人	30,000 22,500 30,000	7,280 20,000 48,750 6,000 33,000	
	外食デー	27日	施設外での食事を楽しむ	食事代職員分 740 × 5人	3,700		201,230
10月	紅葉狩り	18・25日	秋の楽しいひと時を過ごしていただく 昼食は外食、小グループで実施	食事代職員分 740 × 10人 施設利用代 5,000	7,400	5,000	12,400
11月	紅葉狩り	1・8日	秋の楽しいひと時を過ごしていただく 昼食は外食、小グループで実施	食事代職員分 740 × 5人 施設利用代 5,000	3,700	5,000	8,700
12月	もちつき大会 クリスマス・忘年会	13日 25日	杵と臼を使って餅つきを行う 利用者、家族、職員の親睦を図ると共に、 1年の労をねぎらう クリスマスツリー等飾りをし、夕食を楽しんでいただく	もち米、甘酒等 10,000 入所者食事代 700 × 75人 御家族食事代 450 × 50人 飲物代他 30,000 往復葉書代 104 × 70人 クリスマスケーキ 300 × 75人 クリスマスカード 200 × 75人 運営費等 60,000	10,000 52,500 22,500 30,000 22,500	7,280 15,000	219,780
1月	正月(茶話会)	1日	お茶やお菓子を用意し職員と一緒に楽しんでいただく	運営費等 20,000		20,000	20,000
2月	節分豆まき 節分会	3日 3日	千支歳の入所者による豆まき等 ご祈祷、お参り	豆・備品代・運営費等 10,000 お供え等 5,000		10,000 5,000	15,000
3月	お好み寿司	7日	握りたてのお寿司を楽しむ	運営費等 25,000		25,000	
	相撲大会(春場所)	21日	職員による相撲トーナメントの実施	お好み寿司 入所者分 200 × 75人 運営費等 10,000	15,000	10,000	50,000
	個別外出	随時	小グループで実施	職員食事代 740 × 30人 施設利用代 20,000 プレゼント代 1,500 × 70人	22,200	20,000 105,000	22,200 20,000 105,000
	誕生会	毎月	誕生日にお祝いを行う	諸経費 30,000		30,000	30,000
	レクリエーション費	随時		諸経費 20,000		20,000	20,000
	園芸費	随時		材料費 12,000 × 12回		144,000	144,000
	華道クラブ	毎月	個性や意欲を達成する	飲み物・茶菓子代 5,000 × 12回		60,000	60,000
	ティータム	毎週水曜日	茶菓子を用意しコーヒーやお茶を楽しむ	材料費・装飾費等 3,000 × 12回		36,000	36,000
	海グループ活動費	毎月	すみれ会、施設内の装飾等	材料費・装飾費等 3,000 × 12回		36,000	36,000
	森グループ活動費	毎月	ひだまりの会、施設内の装飾等	材料費・装飾費等 3,000 × 12回		36,000	36,000
	山グループ活動費	毎月	山喫茶、施設内の装飾等	材料費・装飾費等 3,000 × 12回		36,000	36,000
			合 計		642,700	1,005,150	1,651,550

手稲ロータス通所介護事業所

札幌市介護予防・日常生活支援総合事業(札幌市通所型サービス事業)が開始となり、デイサービスの在り方が日々変化している。そのようななかで、今後も利用者・家族・地域に必要とされる事業所となることを目指す。

《重点推進課題》

運動プログラムの充実

利用者が自身の有する能力を発揮できる活動へ前向きに参加できる環境を整え、利用者が目的を持って利用できるサービス事業所を目指す

【指標・評価方法】

- ①運動プログラムの内容や回数、実施する時間帯について多職種で検討し試行を重ねることで、要支援者及び事業対象者にとって魅力ある運動プログラムを実施する。
- ②運動プログラムに関する意向や満足度等の効果測定のためにアンケート調査を実施する。

年間会議予定

月	会議予定 (開催日)	対象職員
通年	デイサービス会議(月1回開催)	全職員
	ケースカンファレンス・モニタリング(随時開催)	全職員
	各種委員会(レクリエーション・作品作り・利用者環境)(月1回開催)	各担当職員
	主任会議(月1回開催)	通所主任、通所副主任
	職員会議(適宜開催)	全職員
	サービス担当者会議(随時出席)	生活相談員他

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	誕生会				
5月	誕生会				
	母の日	プレゼント代 300 × 90 人		27,000	27,000
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 400 × 40 人	16,000		
		記念品代 300 × 120 人		36,000	
	誕生会				
	父の日	プレゼント代 300 × 30 人		9,000	61,000
7月	誕生会				
	外出行事	職員食事代 740 × 36 人	26,640		
		ボランティア食事代 1,000 × 18 人	18,000		44,640
8月	誕生会				
	夏祭り	利用者食事代(当日) 440 × 40 人	17,600		
		運営費		20,000	37,600
9月	誕生会				
	敬老祝賀会	利用者食事代(当日) 400 × 40 人	16,000		
		運営費		20,000	
		記念品代(賀寿) 1,000 × 12 人		12,000	
		記念品代 650 × 120 人		78,000	126,000
10月	誕生会				
	外出行事	職員食事代 740 × 36 人	26,640		
		ボランティア食事代 1,000 × 18 人	18,000		44,640
11月	誕生会				
12月	誕生会				
	忘年会	運営費		20,000	
		プレゼント代 1,000 × 120 人		120,000	
		利用者食事代(おやつ代含む) 200 × 192 人	38,400		178,400
1月	誕生会				
2月	誕生会				
	節分(豆まき)	豆・備品代 4,000 × 1	4,000		4,000
3月	誕生会				
	桃の節句				
	お好み寿司	利用者食事代 200 × 40 人	8,000		8,000
通年	レクリエーション制作教材費	13,000 × 12 ヵ月		156,000	
	装飾費(行事等)	20,000 × 1		20,000	
	誕生会(プレゼント代)	1,000 × 120 人		120,000	
	誕生会(おやつ代)	100 × 2,304 人(述)		230,400	526,400
合 計			189,280	868,400	1,057,680

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

認知症の周辺症状への理解を再確認するとともに、生活の中での「笑い」を提供し「健康で安心した暮らし」が継続できることを目指します。

《重点推進課題》

1. 健康管理の強化及び健康増進

利用者が笑顔で健康に過ごせることを目標とし、利用者の有する各疾病をよく理解し、日々の中での体調変化を見落とすことがないように、早期発見に努める。

また、日常の中での「笑い」を拡げる事や、食事内容の見直しを図り個々の利用者の免疫力アップに繋げていく。

【指標・評価方法】

- ①家族、訪問診療医と情報を共有し、定期的（年1回）な健康診断を実施する。
- ②食事の献立に免疫力が高まる材料を使用する。
- ③「笑いの体操」を決められた時間に実施し、習慣化する。
- ④外部研修に参加し、医療知識を深める。
- ⑤感染対策の見直しと体制の整備を図る。

2. BPSD（認知症の周辺症状）への対応を深める。

認知症の周辺症状（自傷行為、不穏、帰宅欲求等）への理解をより深め、個人に合わせた対応を模索することで、安心した穏やかな生活が送れるように努める。

【指標・評価方法】

- ①新人職員に対して、定期的に認知症ケアの研修を実施する。
- ②内部研修を通しての勉強会を実施する。（年2回）
- ③外部研修会に参加し、他の事業所との交流を図り、情報を交換する。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象職員
通年	職員会議・・・毎月第4週目18:00開催	全職員
	避難訓練・・・年2回実施	全職員
	運営推進会議・・・2ヶ月に1回奇数月第4月曜日14:00～15:00	家族、町内会役員、包括支援センター他

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	ショッピング	バスレク	入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人 入居者飲食代 実費	4,665 7,992		12,657
5月	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う				
5月	端午の節句 母の日 お花見	女性利用者お祝い バスレク	栞餅 108 × 18人 プレゼント代 540 × 18人 入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人 入居者飲食代 実費	1,994 4,665 7,992	9,720	24,371
6月	開設記念日(1日)	祝賀会(家族参加)	入居者飲食代 1,200 × 18人 家族飲食代 1,200 × 18人 往復ハガキ 104 × 18人 記念品 648 × 18人 飲料代金 120 × 25人 予備費 10,000	23,328 23,328 3,240	1,872 12,441 10,000	
	市内見物	バスレク	入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人	4,665 7,992		86,866
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	入居者飲食代 実費			
7月	ロータス夏祭り	母体施設と合同(家族参加)	100,000	108,000		
	市内見物	バスレク	往復ハガキ 104 × 18人 入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人	4,665 7,992	1,872	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	入居者飲食代 実費			122,529
8月	海辺見物	バスレク	入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人	4,665 7,992		
	七夕	七夕の飾りを行い、スイカ割を楽しむ	スイカ 100 × 18人 飾り付け他 2,000	1,944	2,000	16,601
9月	盆踊り(14日)					
9月	敬老祝賀会	祝賀会(家族参加)	入居者飲食代 1,200 × 18人 家族飲食代 1,200 × 18人 飲料代 120 × 36人 往復ハガキ 104 × 18人 記念品 648 × 18人 祝品 2,500 × 18人 予備費 10,000	23,328 23,328 4,665	1,872 11,664 48,600 10,000	
	市内見物	バスレク	入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人	4,665 7,992		136,114
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	入居者飲食代 実費			
10月	紅葉狩り	バスレク	入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人	4,665 7,992		
	十五夜		月見饅頭 108 × 18人	2,099		14,756
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	入居者飲食代 実費			
11月	外食デイ	バスレク	入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人	4,665 7,992		12,657
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	入居者飲食代 実費			
12月	外食デイまたは出前の日 餅つき クリスマス会・忘年会	バスレク	入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人 プレゼント 1,300 × 18人 ケーキ他 10,000 飾り付け他 20,000 利用者食事代 2,000 × 18人 職員食事代 2,000 × 10人 往復ハガキ 104 × 18人 予備費 20,000	4,665 7,992 25,272 10,000 20,000 38,880 21,600	1,872 20,000	150,281
1月	お正月 茶話会 新年会		お節料理 1,500 × 18人 お茶、菓子 200 × 18人 和菓子 200 × 18人	29,160 3,888 3,888		
	外食デイ	バスレク	ゲーム材料代 入居者食事代 240 × 18人 職員食事代 740 × 10人	4,665 7,992	3,000	
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	入居者飲食代 実費			52,593
2月	節分 買い物デイ 冬祭り	バスレク	豆他 1,000 入居者食事代 240 × 18人 入居者食事代 240 × 18人	1,000 4,665 4,665		
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	入居者飲食代 実費			10,330
3月	桃の節句	お好み寿司	入居者食事代 240 × 18人	4,665		4,665
	個別外出	入居者の要望に沿った外出を行う	入居者飲食代 実費			
通年	誕生会・・・各利用者の誕生日に実施		ケーキ、カード 1,500 × 18人	29,160	1,944	31,104
	イベント食 計4回(春・夏・秋・冬) 日曜喫茶(月1回)			40,000		40,000
	調理レク(おやつ作りを楽しむ)・・・計12回			12,000		12,000
	装飾代(春・夏・秋・冬) 園芸用品代(野菜を収穫する)				60,000	60,000
	ショッピング・お好み献立・パン献立・手作りおやつ・・・毎月実施					50,000
合計(税込)				545,395	242,129	837,524

老 健 手 稻

職員内部研修計画

(手稲あんじゅ 入所・短期・通所)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	個人情報保護について	事務長
5月	メンタルヘルスケアについて	外部講師
6月	感染症予防（食中毒など）について	感染症予防対策委員会
7月	事故防止対策①について	事故防止検討委員会
8月	腰痛予防について	リハビリ職員
9月	褥瘡予防対策について	褥瘡予防対策委員会
10月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
11月	感染症予防対策（インフルエンザなど）について	感染症予防対策委員会
12月	高齢者の虐待防止について	札幌市 出前講座
1月	事故防止対策②について	事故防止検討委員会
2月	自然災害について	札幌市 出前講座
3月	各事業における意見交換会	各事業所代表者
その他	新規採用職員研修	各事業の主任など

(手稲あんじゅ訪介・居宅介護)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	介護保険制度（個人情報保護・倫理等含）について	管理者・サービス提供責任者
5月	新しい総合事業について	サービス提供責任者
6月	感染症及び食中毒の予防について	サービス提供責任者
7月	緊急時対応及び救命救急法について	サービス提供責任者
8月	身体介護（清拭・入浴）について	サービス提供責任者
9月	生活援助（掃除・調理等）について	サービス提供責任者
10月	接遇とプライバシー保護について	サービス提供責任者
11月	感染症予防、計画書と記録の書き方について	サービス提供責任者
12月	身体介護（排泄・体位交換）について	サービス提供責任者
1月	事故防止対策について	サービス提供責任者
2月	認知症及び認知症ケアについて	サービス提供責任者
3月	今年度のまとめ・自己評価と来年度の取り組みについて	管理者・サービス提供責任者
その他		

老人保健施設 手稲あんじゅ
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

老健「手稲あんじゅ」は、在宅復帰・在宅療養支援の推進を眼目とする施設である。今後も、地域における在宅復帰支援施設としての役割を担い、自宅で家族と共に過ごすことにより得られる「幸福」の達成のため、入所者が抱える課題の解決に挑戦していく。また、在宅へ戻れない方に対しても、できるだけ自立した生活を送っていただき、入所者本人やその家族等が生きる喜びを感じることができるようなケアの提供に努めていく。

《重点推進課題》

在宅復帰支援体制の強化

積年の目標であった在宅復帰率30%を、昨年度はじめて成し遂げることができた。その中で、改めて、ほんのひと時でも自宅で家族と過ごす時間が大きな「幸福」に繋がることが実感できた。また、退所後に継続した在宅生活を送るためのストーリーを組み立てるにあたっては、在宅生活を見通したケアプランとそれに応じた専門性の発揮が重要であると考えられた。本年度は、さらに在宅生活を意識したケアマネジメントを展開して、職員一人一人が個別の復帰ストーリーで名脇役として活躍できるような体制を構築していく。

【指標・評価方法】

在宅復帰の可能性を適正に評価した内容を職員一人一人が意識できるように、退所判定の基準を明確にする。またそれに基づき各専門職が協議する機会や内容の充実を図る。さらに、在宅生活を意識したケアマネジメントを実践するにあたって全国老人保健施設協会が推奨している R4 システム(ケアマネジメント方式)の導入や運用を検討する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	合同会議	最終水曜日 13:30～
	職員会議	必要に応じて随時開催
	主任会議	第2・4木曜日 17:00～
	グループ会議	各グループ月1回 17:45～
	看護職員会議	月1回
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	感染症予防対策委員会	第1水曜日 17:35～
	褥瘡予防対策委員会	第1水曜日 18:10～
	身体拘束廃止委員会	第3水曜日 17:35～
	事故防止検討委員会	第3水曜日 18:10～
	広報委員会	第2火曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:00～
その他	入所者懇談会	年2回(4・10月)第2金曜日 11:00～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	18、21	外出デイ(だいち)	公共施設や観光地を訪れる
	25、28	外出デイ(いずみ)	公共施設や観光地を訪れる
5月	10、17	外出デイ(やま)	公共施設や観光地を訪れる
	12	母の日のお祝い	女性入所者へ花などを贈りお祝いする
	19	のど自慢大会	のど自慢の入所者が歌を披露する
	23	あんしんお届け便	レコーダーの移動販売で衣料品や日用雑貨などを購入する
	24、31	外出デイ(うみ)	公共施設や観光地を訪れる
6月	1	開設記念式典	家族を昼食に招いて開設記念日を祝う(デイケア合同)
	13	化粧療法	資生堂の方が来設し、女性入所者に対しお化粧教室が開かれる
	18	父の日のお祝い	男性入所者へ花などを贈りお祝いする
	20、23	外出デイ(だいち)	公共施設や観光地を訪れる
	27、30	外出デイ(いずみ)	公共施設や観光地を訪れる
7月	4、5	テラスDEカフェ(2F、3F)	それぞれの階でカフェを開いて軽食を楽しむ
	19、26	外出デイ(やま、うみ)	公共施設や観光地を訪れる
8月	5	手稲ロータス会夏まつり	出店やイベントを催す(ロータス・ゆうゆうと共催)
	25	カレーフェスティバル	昼食時に屋外(駐車場)でカレーを食べる
9月	6、13	外出デイ(やま、うみ)	公共施設や観光地を訪れる
	12	化粧療法	資生堂の方が来設し、女性入所者に対しお化粧教室が開かれる
	16	敬老祝賀会	家族を昼食に招いて長寿を祝う(デイケア合同)
	26、29	外出デイ(だいち、いずみ)	公共施設や観光地を訪れる
10月	30	あんしんお届け便	レコーダーの移動販売で衣料品や日用雑貨などを購入する
11月	3	あんじゅアート展2017	入所者、家族、職員等から作品を募集して展示する
	17	秋のお食事会	秋にちなんだ料理を提供する
12月	20	忘年会	入所者全員で食事を囲み、新しい年へ向けた宴会
	12	化粧療法	資生堂の方が来設し、女性入所者に対しお化粧教室が開かれる
	24	クリスマス会	おやつにケーキなどを提供してクリスマスの気分を楽しむ
1月	1	新年茶話会	茶話会をして新年を祝う
	26	紅白歌合戦2018	職員が紅白に分かれてパフォーマンスを提供する
2月	3	豆まき	干支歳の入所者による豆まき等
3月	7	お寿司の日	外部の飲食店の協力で生寿司等を提供する

【備考】

- ※「誕生会」各入所者の誕生日の11:00に実施
- ※「音楽療法」毎月第3火曜日14:00～
- ※アニマルセラピー(屋外で動物触れ合う機会の創出) 年1回(天候等に応じて開催)
- ※「喫茶」(各階)毎週日曜日14:00～
- ※「クラブ活動」書道、手芸、絵手紙、カラオケなどの活動を定期的の実施
- ※「避難訓練」年2回(6/28 10:30～、11/29 10:30～)
- ※ 上記以外に「個別外出」、地域交流等を実施

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	外出デイ(だいち)	18,21	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 23人	17,020		
	外出デイ(いづみ)	25,28	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 22人	16,280		33,300
5月	外出デイ(やま)	10,17	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 21人	15,540		
	母の日のお祝い	12	女性入所者に花などを贈り祝う	プレゼント代 300 82人		24,600	
	のど自慢大会	19	のど自慢の入所者が歌を披露する	運営費 10,000		10,000	
	あんしんお届け便	23	食堂で移動販売を行う	0			
	外出デイ(うみ)	24,31	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 23人	17,020		67,160
6月	開設20周年記念	1	昼食に家族を招いて開設記念を祝う	入所者食事代 440 × 90人 家族食事代 200 × 70人 飲物代他 20,000	39,600 14,000 20,000		
	化粧療法	13	資生堂の方によるお化粧品教室が開かれる	講師派遣料 11,400		9,360	
	父の日のお祝い	18	男性入所者に花などを贈り祝う	プレゼント代 300 × 8人		92,000	
	外出デイ(だいち)	20,23	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 23人	17,020		
	外出デイ(いづみ)	27,30	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 22人	16,280		252,060
7月	テラスDEカフェ	4,5	テラスでカフェを開き軽食を楽しむ	食材費 100 × 90人 運営費 10,000	9,000	10,000	
	外出デイ(やま,うみ)	19,26	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 44人	32,560		51,560
8月	手稲ロータス会夏祭り	5	隣接する事業と同時時間帯にて、各施設位で地域交流も含めた夏祭で賑わう	模擬店材料代・飲物代 210,000 ボランティア食事代 400 × 40人 往復葉書代 104 × 90人 容器代他 40,000 装飾費等 100,000	210,000 16,000	9,360 40,000 100,000	
	カレーフェスティバル	25	昼食時に屋外で食事を楽しむ	入所者食事代 400 × 90人 飲物代他 10,000 運営費 40,000	36,000 10,000	40,000	461,360
9月	外出デイ(やま,うみ)	6,13	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 44人	32,560		
	化粧療法	12	資生堂の方によるお化粧品教室が開かれる	講師派遣料 11,400		11,400	
	敬老祝賀会	16	家族を昼食に招いて長寿を祝う	入所者食事代 440 × 90人 入所者食事代 200 × 70人 飲物代他 20,000 往復葉書代 104 × 90人 入所者記念品代 650 × 90人 記念品代(最高齢) 3,000 × 2人 記念品代(賀寿) 2,000 × 15人 容器代他 20,000 運営費 15,000	39,600 14,000 20,000	9,360 58,500 6,000 30,000 20,000 15,000	
	外出デイ(だいち,いづみ)	26,29	施設や観光地を訪れる	職員飲食代 740 × 45人	33,300		289,720
10月	あんしんお届け便	30	食堂で移動販売を行う		0	0	0
11月	あんじゅアート展	3	文化の日に因んだ作品展	運営費 10,000		10,000	
	秋のお食事会	17	秋にちなんだ料理を提供する	入所者食事代 440 × 90人 飲物代他 10,000	39,600 10,000		59,600
12月	忘年会	20	入所者全員で食事を囲み、新しい年へ向けた宴会	入所者食事代 640 × 90人 飲物代他 20,000 容器代他 20,000 運営費 20,000	57,600 20,000	20,000 20,000	
	化粧療法	12	資生堂の方によるお化粧品教室が開かれる	講師派遣料 11,400		11,400	
	クリスマス会	24	ケーキなどを食べクリスマス気分を味わう	入所者食事代 340 × 90人 飲み物代他 2,000	30,600 2,000		161,600
1月	新年茶話会	1	茶話会をして新年を祝う	飲食代等 15,000	15,000		
	紅白歌合戦	26	職員がパフォーマンスを提供する	運営費 15,000		15,000	30,000
2月	豆まき	3	千支歳の入所者による豆まき等	運営費 10,000		10,000	10,000
3月	お寿司の日	7	外部の飲食店の協力で生寿司等を提供	お好み寿司(入所者分) 200 × 90人 出張費等 25,000	18,000	25,000	43,000
その他 クラブ 活動	誕生会	随時	各入所者に生誕日プレゼントを贈る	プレゼント代他 864 × 90人		77,760	
	個別外出	随時	急なニーズに対応	職員飲食代 940 × 45人	42,300		
	アニマルセラピー	年1回	屋外で動物触れ合う機会の創出	運営費 20,000		20,000	
	食事会	年3回	豪華食の提供	運営費 30,000		30,000	
	クラブ活動費	定期	書道、手芸、調理等のクラブを運営	入所者食事代 640 × 180人	115,200		
施設内装飾費	随時	季節毎の装飾	運営費 5,000 × 12月		60,000		
レクリエーション費	随時	グループ毎に行うレクリエーション	装飾費 20,000 運営費 96,000		20,000 96,000	461,260	
合 計					976,080	944,540	1,920,620

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

地域包括ケアシステムの一翼をなすため、手稲あんじゅでは、昨年度より高齢者の在宅支援強化を行っている。通所事業所としては、利用者の多様なニーズに応え、在宅生活の継続ができるよう心身機能の維持回復を目指している。そのために、利用者、家族の満足につながるよう個別性の高いサービスの提供を実現していく。

《重点推進課題》

利用者の個別性を重視したサービスの強化

昨年度、短時間サービス(3時間以上4時間未満)を5月より開始し、長時間の施設滞在が肉体的精神的に負担となる利用者を中心に多くの方に利用して頂いた。今年度は、更に、利用者の個別のニーズに目を向け、在宅における生活がより豊かに、より楽しくなるようサービスの強化を行う。

【指標・評価方法】

利用者の個別ニーズに合わせた新たな取り組みの検討及び実施を行う。

＜グループケアの実施＞

グループケアを実施することで、利用者個々の強みを生かしたりハビリを強化する。

年間会議予定

月	会議予定（開催日）	対象職員
通年	デイケア会議（毎月第1火曜日開催）	全職員
	ケースカンファレンス（随時開催）	全職員
	主任会議（隔週開催）	デイケア主任
	職員会議（必要に応じて随時開催）	全職員
	サービス担当者会議（随時出席）	支援相談員他

年間行事予定

(単位：円)

月	行事名	予算内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	誕生祝い				
5月	誕生祝い お花見ドライブ				
6月	誕生祝い 外出行事 開設記念日	職員食事代 740 × 36 人 ボランティア食事代 1,000 × 36 人 職員, ボランティア施設利用費 500 × 72 人 記念品代 300 × 110 人 運営費 20,000 利用者食事代（当日） 400 × 37 人 利用者食事代（当日以外） 100 × 185 人	26,640 36,000 14,800 18,500	36,000 33,000 20,000	184,940
7月	誕生祝い ロータス会夏祭り	利用者食事代 440 × 37 人 運営費 30,000	16,280	30,000	46,280
8月	誕生祝い カレーフェスティバル	利用者食事代 500 × 37 人 飲み物代 3,000	18,500 3,000		21,500
9月	誕生祝い 敬老祝賀会	利用者食事代（当日） 400 × 37 人 記念品代 650 × 110 人 記念品代（賀寿） 25,000 運営費 20,000	14,800	71,500 25,000 20,000	
10月	誕生祝い レクリエーション大会	運営費 30,000		30,000	30,000
11月	誕生祝い 秋のお食事会	利用者食事代 300 × 37 人 飲み物代 3,000	11,100 3,000		14,100
12月	誕生祝い クリスマス・忘年会	プレゼント代 1,000 × 110 人 利用者食事代 340 × 222 人 ボランティア食事代 900 × 10 人 職員食事代 640 × 42 人	75,480 9,000 26,880	110,000	221,360
1月	誕生祝い				
2月	誕生祝い				
3月	誕生祝い お寿司の日	利用者食事代 200 × 37 人	7,400		7,400
通年	レクリエーション制作教材費 装飾費（行事等） 誕生祝い（プレゼント代）	12,000 × 12 ヶ月 30,000 1,000 × 110 人		144,000 30,000 110,000	284,000
合 計			281,380	659,500	940,880

手稻あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

利用者が可能な限り、その居宅や地域において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、「心身機能」、「活動」、「参加」などにバランスよく働きかけ支援する。

《重点推進課題》

利用者の活動と参加に焦点をあてた目標設定に努める

訪問リハビリテーション利用者の利用目的は下記の2種類に分けられることが多い。

- ① 一定期間訪問リハビリテーションが必要で、その後通所サービスや地域の社会での活動に移行し修了を目指すもの
- ② 通所が困難であり、訪問にて継続的なかわりが必要なもの

このうち、①の一定期間後に修了を目指す利用者に対し、的確な目標、期間を設定し、居宅を含めた地域の中での自立支援に努める。

【指標・評価方法】

新規サービス利用開始時に、一定期間後に修了することができる可能性のある場合、利用者本人、家族、ケアマネージャーと目標、到達期間を具体的に話し合い、リハビリテーション計画書に反映させる。また、終了後に移行可能なサービスの検討も利用開始時から行っていく。

手稲あんじゅ 指定居宅介護支援事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問介護事業所
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

手稲あんじゅ 指定居宅介護支援事業所

日本では現在、「国民の約 15 人に 1 人、65 歳以上の高齢者の 4 人に 1 人」が認知症と診断されている。今後、認知症高齢者が更に増加することが懸念されるため、厚労省は、「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」という基本的な考え方の、「新オレンジプラン」を策定した。このプランの中には、「認知症の人の介護者への支援」という具体的な策があり、認知症カフェの設置を推進する。

昨年度、認知症カフェ「café ange^{カフェ アンジュ}（フランス語で天使という意味）」を 3 回開催し、また、地域住民の行事（餅つき）へも参加。この経験を基に地域との接点を持ち、更に結びつきを強化し、地域に根差した事業所を目指す。

≪重点推進課題≫

1. 地域に根差した事業所を目指す

地域コミュニティの実現が可能となるよう、更なるネットワークの拡大に努める。

【指標・評価方法】

café ange を年 6 回の開催とし、地域で困っていることや、地域に困っている人がいないか確認し、介護保険制度の啓蒙を図り、支援に繋げる。また、予防センターとの協力を図り、各関係機関との情報交換や地域住民主体の行事へ積極的に参加し、交流を深める。

具体策としては下記のとおり。

- ①café ange を年 6 回（2 ヶ月に 1 回）開催。開催場所は予防センターが管轄する「稲穂、金山、星置」を拠点とする。内容としては、コーヒーやお茶菓子を提供する他、介護、医療及びリハビリ等に関する講師を招き、講習を行う。
- ②地域の行事へ参加し、地域との関わりを持つことで、信頼関係を構築する。

上記 2 点の具体策を実施し、顔の見える関係がつくれ、相談しやすい環境が提供できる。将来的には地域住民が気軽にお話ができる場所へ拠点を移し、café ange を常設しながら、地域支援の実施を目指す。

手稲あんじゅ訪問介護事業所 手稲あんじゅ札幌市訪問介護相当型サービス事業所 手稲あんじゅ居宅介護事業所

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年をめどに、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築を国は実現することを目指している。それに伴い、訪問介護事業の重要性が増しているにもかかわらず、今まで通りの運営では高齢者、障害者の生活状況によって起こる様々なニーズについて対応できなくなってきた。平成 29 年 4 月 1 日より、予防給付介護事業が、総合事業に位置付けられる。我々も、新たな取り組みを進め、利用者の様々なニーズに対応し、地域社会に貢献できるよう努めていく。

《重点推進課題》

介護保険外サービスの取り組み

高齢者、障害者が支援を必要としている事の中で、介護保険では対応が出来ない事につき、介護保険外サービスとして新たに支援できるよう取り組む。

【指標・評価方法】

介護保険外サービスを行うにあたって、どのようなニーズがあり、我々がどのように携わることができるのかを以下の 2 点で検討したのち、今年度サービスを開始する。

①介護保険で行うサービスと介護保険外で行うサービスの内容

＜保険外で想定される事例＞

- ・同居している高齢者家族の食事や掃除の生活支援
- ・趣味の付き添い、嗜好品の購入などの支援

②介護保険外でサービスを行う時の料金

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

札幌市の一般介護予防事業の推進を図るため、介護予防の普及啓発活動を通し、町内会・地域活動団体、関係機関との関係を深め、地域の活性化や介護予防の観点から協働していける関係構築に努める。

《重点推進課題》

地域資源の情報を整理し、地域資源マップを作成する。

担当地区には、町内会館や活動拠点、住民主体の活動など、様々な地域資源が存在している。この地域資源の情報をマップにして「見える化」することで、地域の活動の把握と活動が行われていない「空白地帯」を確認し、介護予防の効果的な推進につなぐことができる。また、関係機関、地域関係者と共有して、協働した取り組みのきっかけにしていく。

【指標・評価方法】

担当地区である稲穂金山地区・星置地区の地域資源マップを作成する。今年度、掲載する情報としては、①住民の自主活動（老人クラブ、サロン活動、自主サークルなど）、②活動拠点（会館、地区センター、会場提供可能な建物など）といった、住民の自主活動に関連した情報で作成する。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象事業所
通年	居宅会議(毎週金曜日)	居宅介護支援事業所(介護支援専門員)
	ヘルパー合同会議(月1回)	訪問介護事業所
	ヘルパー定例会議(月3回)	訪問介護事業所
	地区地域ケア会議(各地区1回 年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域包括支援センター介護予防センター連絡会議(月1回 第3火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	地区連絡会議(区保健師・地域包括支援センター・介護予防センター)(月1回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域ケア推進会議(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	介護予防事業情報交換会(手稲区:各4介護予防センター)(奇数月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山健康づくり事業(2月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区各種団体交流会(3月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲ふれあいフェスティバル(手稲区介護予防センター共催事業)(9月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉のまち推進センター運営会議(月1回 第1火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉推進委員の集い(年2回 7月・3月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区新年交流会(1月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	むぎの会総会・例会(3月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置

介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活動名	費用内訳	金額	合計予算金額
4月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 4回	4,000 2,000	6,000
5月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代 実施回数 4回	4,700 15,000 4,000	23,700
6月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代 実施回数 4回	4,000 2,000 9,000	15,000
7月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 4回	4,700 15,000	19,700
8月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 4回	4,000 12,000	16,000
9月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 講師謝礼代 実施回数 4回	4,700 9,000	13,700
10月	介護予防すこやか倶楽部	材料費代(外出レクバス代を含む) 実施回数 4回	150,000	150,000
11月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 実施回数 4回	5,200	5,200
12月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 実施回数 4回	4,500 10,000	14,500
1月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 材料費代 講師謝礼代 実施回数 3回	4,200 8,000 5,000	17,200
2月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 実施回数 4回	4,500	4,500
3月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代 実施回数 4回	5,200	5,200
その他	福祉事業者総合補償保険	保険料	31,760	31,760
	地域福祉活動支援事業 その他活動予備費	地域福祉活動支援事業開催に伴う必要経費、その他介護予防事業開催に伴う必要経費代など 実施回数 33回	80,000	80,000
合 計			402,460	402,460

特 養 音 更

職員内部研修計画

(ロータス音更)

実施月	研修内容	講師等
4月	救急救命措置研修(AED研修)	音更消防署
5月	「看取り」研修	看取り介護検討委員会
6月	事故対策予防研修	事故防止委員会
7月	口腔機能基礎知識	つがやす歯科
8月	介護研修	介護主任
9月	緊急時対応	研修委員会
10月	感染症予防、蔓延防止研修①	感染対策委員会
11月	接遇研修	研修委員会
12月	認知症ケア研修	研修委員会
1月	身体拘束について	身体拘束廃止委員会
2月	感染症予防、蔓延防止研修②	感染対策委員会
3月	ユニット実践報告会	各ユニット

特別養護老人ホーム □ー夕ス音更
□ー夕ス音更（介護予防）通所介護事業所
□ー夕ス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所

介護老人福祉施設 ロータス音更

入居者様、ご家族様、地域の皆様そして職員のそれぞれの笑顔があふれる施設となるよう、入居者様が希望されるケアの実践、ご家族様との信頼関係の構築や積極的な行事への参加呼掛けのほか、地域の中の福祉施設として地域と連携する取組み、職員の専門性を更に高めるとともに、職員が相互に尊重し合い連携する職場づくりを目指す。

《重点推進項目》

1 入居者様主体のケアの実践

要介護度の上昇等に対応するため、入居者様各々の状況の把握に一層努めるとともに、入居者様が望まれる入居者様主体のケアを実践する。

【指標・評価方法】

これまで以上に入居者様が希望されるケアが実現できるよう、お一人おひとりの様々な状況の把握に努めるとともに、入居者様の要介護度や認知(生活自立)度、介護ニーズ等を踏まえ、入居者様の笑顔につながる、最善のケアの実践を目指す。

2 ご家族様に安心していただけるケアを目指す

入居者様の日常の様子をできるだけお伝えし、ご家族様のご希望などを伺う中で、ご家族様との信頼関係を築いていくとともに、施設行事などの機会に来設いただき、入居者様と触れ合う時間を楽しんでいただく。

【指標・評価方法】

ご家族様に対して、面会時や行事に参加された機会のほか、手紙などを通じて、入居者様の日常生活に関する最新情報をお伝えするとともに、入居者様に関するご家族様のご希望を伺うことなどを積み重ねて、ご家族様との信頼関係を築いていく。また、入居者様と笑顔で触れ合っていたくため、可能な限りご来設いただくよう働きかける。

3 地域との交流や施設開放の推進

施設の人的・物的資源を活用して、近隣の町内会などとの連携を深めるとともに、地域住民のほか子どもたちや学生と交流する機会を増やし、地域との良好な関係を一層深めていく。

【指標・評価方法】

職員の専門性(介護・看護・栄養・機能訓練など)を生かした地域住民向けの講座(介護、健康など)の定期開催や、町内会行事などに利用していただくよう施設開放を積極的に進

める。また、地域住民だけではなく、保育園児や児童・生徒、学生との交流を進め、地域との連携を一層深める。更に、地域住民のボランティアによるサポート体制を構築するほか、施設の存在や様子をより多くの方々に知っていただくための方策に取り組んでいく。

4 職員の専門性の向上と働きやすい職場づくり

入居者様の身体状況等の変化に対応できる、より専門性の高い職員の育成に努めるとともに、職員同士が尊重し合い、相互に連携できる職場づくりを目指す。

【指標・評価方法】

入居者様の要介護度や生活自立度が高まる傾向にある中で、ケアの質を一層高めていく必要があることから、より専門性の高い職員を育成していくため、施設内研修を充実させるとともに、資格習得も含めた高度な専門研修へ職員を派遣する。また、職員が自由闊達に意見交換する中でも互いを尊重し合い、意欲を持って一つのチームとして連携、協力していく職場づくりを目指す。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	4月・7月・10月・1月 第1水曜日 17:30～
	ケアプランカンファレンス	毎週火曜日 11:00～
	連絡会議	毎月第2、第4木曜日 11:30～
	リーダー会議	毎月第1木曜日 15:45～
	ユニット会議 / ミニカンファ	ユニット毎月1回実施 / 毎週1回及び月1～2回
勉強会	施設内勉強会	毎月第4火曜日 17:30
懇談会	給食懇談会	毎月第3水曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月第4木曜日 16:30～
	口腔機能向上委員会	毎月第4金曜日 11:30～
	事故防止対策委員会・身体拘束廃止委員会	毎月第4水曜日 15:45～
	感染症予防対策委員会	毎月第2水曜日 15:45～
	生きがい活動委員会	隔月第3金曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	対象者がいる場合に随時実施
	施設向上研修委員会	毎月第4金曜日 15:45～
	看取り介護検討委員会	毎月第2木曜日 15:45～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
5月	—	お花見	桜を見ることで季節感を感じて頂く。
	21日	開設記念式典	開設記念をご家族を招いて祝う。
7月	30日	夏祭り	あんじゅ音更合同で実施。出店やイベントを催す。
9月	10日	敬老祝賀会	ご家族も参加し長寿を祝う。
12月	—	クリスマス会・忘年会	ユニット毎で企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
	27日	餅つき大会	昔からの風習を大事にし、つきたての餅を食べ新年を迎えて頂く。
2月	3日	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごして頂く。
3月	3日	春の行事食	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ。

【備考】

- ※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別で実施
- ※「個別外出」各ユニットにて動物園や外食行事など企画しながら随時実施
- ※「ユニット行事」年間予定行事を企画しながら随時実施
- ※「喫茶」月1回金曜日に実施
- ※「床屋」毎月第2火曜、第2木曜、第4月曜、第4火曜、第4日曜
- ※「避難訓練」年2回実施

年間行事予算(案)

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	アニマルセラピー	—	小動物との触れ合いを楽しむ	委託費 8,000 × 1回		5,000	5,000
5月	花見 開設記念式典 保育園交流	7日～未定 21日	鈴蘭公園の桜を鑑賞し楽しむ あんじゅ音更と合同で実施 鈴蘭保育園児との交流	利用者食事代 900 × 80人 往復封筒代 160 × 72人 飾り付け材料代外 3,000 × 4ユニット プレゼント代 50 × 100人	72,000	11,520 12,000 5,000	100,520
6月	蕎麦打ち	—	手打ちそばの実演を楽しむ	材料費 200 × 80人	16,000		16,000
7月	夏祭り	30日	あんじゅ音更と合同で実施	利用者食事代 1,000 × 80人 往復封筒代 160 × 72人 飾り付け材料代外 240,000 ゲーム景品代 5,000	80,000	11,520 240,000 5,000	336,520
8月	納涼会 施設居酒屋	1～末日	ユニット毎に花火や食事をして楽しむ 居酒屋の雰囲気を楽しむ	利用者食事代 700 × 80人 材料代 5,000 材料費 15,000 × 1回	56,000 15,000	5,000	76,000
9月	敬老祝賀会 アニマルセラピー	10日 —	あんじゅ音更と合同で実施 敬老週間(作品展示等) 小動物との触れ合いを楽しむ	往復封筒代 160 × 72人 高齢者表彰者記念品 3,000 × 10人 利用者食事代 900 × 80人 家族食事代 500 × 65人 飾り付け材料代外 15,000 1時間コース 8,000 × 1回	72,000 32,500	11,520 30,000 15,000 8,000	169,020
10月	保育園交流	—	鈴蘭保育園児との交流	プレゼント代 50 × 100人		5,000	5,000
11月	バイキング ハンドマッサージ	1～末日	お楽しみ食事会(セレクトメニュー) アロマを用いてリラックスして頂く	入所者食事代 400 × 80人 材料代 2,000 × 1回	40,000	2,000	42,000
12月	クリスマス・忘年会 餅つき大会 大晦日	— 27日 31日	 杵と臼を使って参加、披露 おせち料理で新年を祝う	飾り付け材料代外 3,000 × 4ユニット プレゼント代 300 × 80人 利用者食事代 500 × 80人 もち米外 利用者食事代 300 × 80人	40,000 8,000 24,000	12,000 24,000	108,000
1月	正月	1日	おせち料理で新年を祝う	利用者食事代 800 × 80人 飲み物代等 100 × 80人	64,000 8,000		72,000
2月	節分 施設居酒屋	3日 —	豆まきを楽しむ 居酒屋の雰囲気を楽しむ	豆と代替え食品代 巻き寿司、いなり 100 × 80人 材料費 15,000 × 1回	5,000 8,000 15,000		28,000
3月	春の行事食	3日	行事食を楽しむ(寿司行事)	利用者食事代 800 × 80人 桃の節句 200 × 80人	64,000 16,000		80,000
通年	誕生会 調理レク 季節のお菓子		誕生日プレゼント 調理レクを楽しむ 季節のお菓子	プレゼント代 1,200 × 72人 材料費代 200 × 80 × 4回 100 × 80 × 5回	86,400 64,000 40,000		190,400
合 計					739,500	488,960	1,228,460

ロータス音更(介護予防)通所介護事業所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

利用者や家族、地域の方々のニーズや意見等を様々な機会を通じて伺うとともに、希望や期待に応えられるサービスが提供できるよう、更なる質の向上に努めていく。

<共通課題>

選ばれる事業所づくり

安心と楽しみの中で時間を過ごすことができる場として、利用者や家族から選ばれる事業所づくりを目指す。

【指標・評価方法】

- ・ ヒヤリハットを見逃さず、十分に原因分析を行うことで、同様の事例の発生を限りなく減少させていくとともに、重大事故の未然防止につなげる。
- ・ 利用者及び家族への「サービス満足度調査」を年1回以上実施し、意向を確認するとともにサービス内容等の振返りを行う。
- ・ 保育園児や慰問ボランティアなどの地域住民との交流を一層図るなどして、地域社会との接点が保たれるよう積極的に取り組む。
- ・ 職員は、個々に知識や技術の向上に励むとともに、施設内外の研修及び勉強会等に積極的に参加して自己研鑽に努める。

<標準型デイサービス>

利用者が過ごし方を選択できる環境づくり

利用者個々のニーズを踏まえて、利用者自らが過ごし方を選択できる環境を整えることで自律支援につなげる。

【指標・評価方法】

- ・ 利用者のニーズに基づき、現行のサービス提供時間(5時間以上7時間未満)に加え、短時間サービス(3時間以上5時間未満)を導入して、利用者が選択できるようにする。
- ・ 少人数による外出行事(町内外の催しや食事、買い物等)については、利用者個々のニーズをできるだけ反映して企画する。

<認知症対応型デイサービス>

家族支援と個別ケアの充実を図る

家族をサポートする環境づくりと、利用者の日々の症状や状態に合わせた個別ケアの充実を図る。

【指標・評価方法】

- ・ 家族同士のつながりや家族が職員に相談しやすい関係が一層深まるよう、「家族交流会」を開催する。
- ・ 連絡ノートを活用のほか、送迎時や電話による家族との情報交換に加え、必要に応じて自宅を訪問するなどして、個別相談の機会を積極的に持つ。
- ・ 「運営推進会議」(28年度設置)を2回開催し、利用者や家族、地域の方々の意見等を伺い、サービス向上に反映していく。

年間会議予定

月	会議予定 (開催日)	対象職員
通年	職員会議(4, 7, 10, 1月)	全職員
	デイ会議(月1回)	全職員
	ケースカンファレンス(月1~2回)	全職員
	サービス向上委員会(月1回)	相談員、介護職員
	運動委員会(月1回)	相談員、介護職員

年間予定

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春の昼食行事(3日間)	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	食材料費 300 × 80	24,000		24,000
6月	蕎麦行事	ボランティアによる蕎麦打ち披露、試食。	食材料費 300 × 25	7,500		7,500
7月 8月	夏の納涼祭	夏祭りレクリエーション、焼肉屋台(出店)を出店し、雰囲気を楽しむ。	飲食代 15,000 製作材料費 3,000 ゲーム景品代 3,000	15,000	3,000 3,000	21,000
9月	敬老週間	作品展示や職員余興、外部のボランティア余興の開催。	記念品代 1,500 × 10人 記念品代 500 × 70人 製作材料費 5,000 ゲーム景品代 10,000		15,000 35,000 5,000 10,000	65,000
10月	保育園交流 体育の日イベント	園児との交流 体育の日にちなんだイベントの実施。	材料費 2,000 イベント代 3,000		2,000 3,000	2,000 3,000
12月	クリスマス忘年会週間	余興やクリスマスにちなんだイベントの実施	プレゼント代 700 × 80人 製作材料費 10,000 ゲーム景品代 5,000		56,000 10,000 5,000	71,000
1月	冬の昼食行事 もちつき(1日限定)	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。 利用者と餅つきを交え懐かしむ。	食材料費 300 × 80 食材料費 2,000	24,000 2,000		24,000 2,000
2月	節分 バレンタイン行事	豆まきを行う。	豆・備品代 3,000 食材・製作材料費 2,000	3,000 2,000		3,000 2,000
3月	ひな祭り	雰囲気を感じられるよう甘酒の提供等。	おやつ代 2,000	2,000		2,000
通年	レクリエーション製作・食材料費 誕生会(プレゼント代) 新聞代(利用者用) 本代(利用者用) 園芸用品代		6,000 × 12ヶ月 500 × 80人 道新・道新スポーツ購読料 5,962 × 12ヶ月 週刊誌代 1,350 × 12ヶ月 材料費 5,000		72,000 40,000 71,544 16,200 5,000	204,744
4月~9月	外出行事費		職員食事代 5,000 × 6ヶ月		30,000	30,000
				小計	79,500	461,244
				消費税	6,360	36,900
				合計	85,860	498,144

年間会議予定

月	会議予定 (開催日)	対象職員
通年	職員会議(4, 7, 10, 1月)	全職員
	デイ会議(月1回)	全職員
	ケースカンファレンス(月1~2回)	全職員
	サービス向上委員会(月1回)	相談員、介護職員
	運動委員会(月1回)	相談員、介護職員

年間予定

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春の昼食行事(3日間)	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	食材料費 300 × 23	6,900		6,900
6月	蕎麦行事	ボランティアによる蕎麦打ち披露、試食。	食材費 300 × 12	3,600		3,600
7月	夏の納涼祭	夏祭りレクリエーション、焼肉屋台(出店)を出店し、雰囲気を楽しむ。	飲食代 5,000	5,000		10,000
8月			製作材料費 3,000		3,000	
			ゲーム景品代 2,000		2,000	
9月	敬老週間	作品展示や職員余興、外部のボランティア余興の開催。	記念品代 1,500 × 5人		7,500	26,500
			記念品代 500 × 18人		9,000	
			製作材料費 5,000		3,000	
			ゲーム景品代 5,000		7,000	
10月	保育園交流	園児との交流	材料費 1,000		1,000	1,000
	体育の日イベント	体育の日にちなんだイベントの実施。	イベント代 1,000		1,000	1,000
12月	クリスマス忘年会週間	余興やクリスマスにちなんだイベントの実施	プレゼント代 700 × 23人		16,100	22,100
			製作材料費 3,000		3,000	
			ゲーム景品代 3,000		3,000	
1月	冬の昼食行事	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	食材料費 300 × 23	6,900		6,900
	もちつき (1日限定)	利用者と餅つきを交え懐かしむ。	食材料費 1,000	1,000		1,000
2月	節分	豆まきを行う。	豆・備品代 2,000	2,000		2,000
	バレンタイン行事		食材・製作材料費 2,000	2,000		2,000
3月	ひな祭り	雰囲気を感じられるよう甘酒の提供等。	おやつ代 2,000	2,000		2,000
通年	レクリエーション製作材料費		3,000 × 12ヶ月		36,000	50,000
	誕生会(プレゼント代)		500 × 23人		11,500	
	園芸用品代		材料費 2,500		2,500	
小計				29,400	105,600	135,000
消費税				2,352	8,448	10,800
合計				31,752	114,048	145,800

老 健 音 更

職員内部研修計画

(あんじゅ音更・あんじゅ音更居宅)

実施月	研修内容	講師等
4月	接遇について	接遇向上委員会
5月	事故防止について(救命救急)	医療事故防止委員会(音更消防署)
6月	感染予防について	感染予防委員会
7月	レクリエーション・体操	研修委員会
8月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
9月	職員交流	研修委員会
10月	感染予防について	感染予防委員会
11月	事故防止について	医療事故防止委員会
12月	教育システムについて	教育委員会
1月	栄養について	研修委員会(管理栄養士)
2月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止委員会
3月	外部研修報告	研修委員会

老人保健施設 あんじゅ音更
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 あんじゅ音更

入所者の皆様が、住み慣れた環境(地域)に於いて、最高の笑顔で自立した生活を送ることが出来るよう個々に合った活動やリハビリを提供し、介護老人保健施設の役割である生活機能の維持・向上を図ります。

また医療・介護・リハビリが一体となり、入所者の思い描く生活の実現に向けたケアを実践することはもちろん、職員や福祉の道を志す学生など施設に関わる全ての人の思いを大切に、各々の思いが実現可能な十勝No.1の介護老人保健施設を目指します。

《重点推進課題》

1. 入所者の思い描く生活を実現出来る施設を目指して

入所者一人ひとりが思い描く生活を大切に、集団生活の中でも自分の思いを実現の出来る施設を目指す。

【指標・評価方法】

- ①一般棟では『笑顔～1日1日を大切に～』を合言葉に、何気ない日々の関わりを重視し、「何を行いたいのか?」「どのように生活したいのか?」など入所者の意向調査を各担当で行い、入所者の思い描く生活の実現に向けてアプローチする。またレクリエーションの開催時間を固定化し、活動の充実を図っていく。
- ②認知症専門棟では昨年度に続き『スマイル』を合言葉として、認知症状や身体機能に応じた小グループ活動の充実を図るとともに、集団レクリエーションに於いても、定期的に新たなレクリエーションを導入し、マンネリ化の防止を図っていく。また、地域住民によるワークショップで完成した、子供からお年寄りまで交流の場として楽しめるコミュニティー型の公園の「青葉公園」を活用し、屋外への散歩などを増やしていく。
- ③医療・介護・リハビリ職員が一体となり、入所者の思い描く生活の実現に向け、在宅復帰支援を行うほか、終末期にある入所者については、ターミナルケアを提供し、介護老人保健施設として幅広い役割を担っていく。

2. 地域に信頼され、福祉の道を志す学生と共に成長する施設へ

地域の町内会や行政機関・福祉の道を志す学生との関わりを多く持ち、地域福祉の中心となる施設を目指す。

【指標・評価方法】

- ①地域住民のニーズに則して、施設交流スペースの活用や出前講座などへの協力をロータス音更とともに行い、地域に愛される施設を目指していく。

- ②認知症啓発活動への参加やケアカフェの開催、認知症サポーター養成講座への講師派遣など、行政機関と一体となり地域福祉活動へ積極的に参加する。
- ③帯広大谷短期大学と連携し、毎月実施する施設内研修への参加を呼び掛け、現任職員と学生が共に学び、切磋琢磨することで地域福祉の発展に繋げていくと共に、学生が「実習に行きたい」「就職したい」と思う事の出来るに施設へと成長していく。

3. 多職種協働によるチーム力の向上

職員一人ひとりの自由な発想を大切に、ケア従事者としての主役となり、新たなケア・行事などを提案・創出し、福祉専門職の資質向上を図る。

【指標・評価方法】

- ①職員面談を継続し、経験年数に応じた各職員の到達目標を周知するとともに、各々の思い描く介護像の実現のために、何が必要であるのか等の情報を共有する。
- ②昨年度に続き、職員満足度アンケートを継続して実施し、日々の業務(ケア)に対する満足度や勤務環境への満足度を把握し、必要に応じて業務改善等を行うことで、より働きやすい環境を構築する。
- ③新採用職員・中途採用職員への教育マニュアルを活用し、介護職員としての基礎から応用まで、親切丁寧に指導することで、安心して働ける環境を構築する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年2回(4月下旬・10月下旬)
	幹部会議	毎月第3水曜日 17:00～
	入所判定会議	随時
	ケアカンファレンス	毎週水・金曜日 11:00～
	主任会議	毎月第1月曜日
	看護師会議	毎月第3火曜日
	フロア会議	2F:毎月主任会議後の木曜日 毎月主任会議後の金曜日
	リハビリ会議	毎月主任会議後の水曜日
	施設内研修	毎月第4水曜日 18:00～
委員会	医療事故防止委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第3水曜日 17:45～
	身体拘束廃止委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第3木曜日 17:45～
	感染対策委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第1水曜日 17:45～
	褥瘡対策委員会	3ヶ月毎(対象者がいる場合月1回)
	接遇委員会	毎月第4月曜日
	研修委員会	毎月第4火曜日
	教育委員会	毎月第2月曜日
	給食委員会	毎月第4木曜日
	防災委員会	随時
	口腔ケア委員会	毎月第4月曜日 11:00～
	ターミナルケア委員会	毎月第2月曜日

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月		買物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行なう。
5月	上旬	お花見外出	鈴蘭公園にてお花見をする。
		母の日	母の日に合わせお祝いをする。
	21日	開設記念式典	開設11周年を祝う。
6月		父の日	父の日に合わせてお祝いを祝う。
		蕎麦行事	入所者の声を反映した食事提供を行なう。
7月	30日	夏祭り	ロータスと合同開催。模擬店やイベントを催す。
8月	上旬	帯広市七夕祭り出展	地域の夏の行事に参加し、交流する。
	下旬	昼食行事	夏の風情を味わい、季節感のある食事を楽しむ。
9月	10日	敬老祝賀会	家族と共に、入所者の長寿を祝う。
10月	上旬	運動会	リハビリを兼ねて、運動の機会と交流を目的に行う。
		買物デイ	施設内に移動販売を呼び、買物を楽しむ。
11月		家族交流会	家族との情報交換及び介護技術等の提供を行う。
		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行なう。
12月		クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、お酒を振る舞い新年を迎える。
1月	1日～2日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	新年餅つき大会	杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。
2月		節分	干支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月		桃の節句	職員による相撲大会。

※「誕生日会」各入所者の誕生日に実施

※「変わり湯」年4回実施

※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施

※「くるみの会ボランティア喫茶」第1水曜日・「くるみの会ボランティアレク」第3木曜日

※「避難訓練」年2回(10月・3月)実施

※「華道クラブ」毎月第2土曜日に実施

※「紙あそびクラブ」毎月1回実施

※「個別外出」5月～10月の間で入所者の希望に沿った外出を実施

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	買い物デイ 寿司行事		施設内に店を呼び、買物を楽しみ社会交流を図る。 入所者の声を反映した食事提供を行う。	買い物代 実費 入所者食事代 500 × 100 人	50,000		50,000
5月	バスレク 母の日 開設12周年記念 個別外出	上旬 21日	バスで外出する。 母の日に合わせお祝いをする。 開設記念を入所者、家族と共に祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者飲食代 100 × 100 人 6,000 入所者食事代 260 × 100 軽食・飲み物代 40,000 装飾等備品代 10,000 花(一輪挿し) 3,500 入所者飲食代 実費	10,000 26,000 40,000 10,000 3,500	6,000 10,000 3,500	95,500
6月	蕎麦行事 父の日 個別外出	計2回	ボランティアによる蕎麦打ち披露、試食を行う。 父に日に合わせお祝いをする。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 320 × 100 人 入所者飲食代 6,000 実費	32,000	6,000	38,000
7月	夏祭り 個別外出	30日	ロータス音更との合同開催にて実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 300 × 100 人 ボランティア食事代 500 × 45 人 模擬店材料代・飲物代 250,000 入所者飲食代 実費	30,000 22,500	250,000	302,500
8月	食事行事 個別外出	下旬	夏の風情を味わい、季節感のある食事を楽しむ。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 850 × 100 人 装飾等備品代 20,000	85,000	20,000	105,000
9月	敬老祝賀会 個別外出	10日	家族、職員と共に入所者の長寿を祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 760 × 100 人 家族食事代 500 × 70 人 高齢者記念品代 2,000 × 5 人 喜寿・米寿・白寿記念品代 1,500 × 15 人 装飾備品代 20,000 入所者飲食代 実費	76,000 35,000	10,000 22,500 20,000	163,500
10月	運動会 個別外出 買い物デイ	上旬	クハヒラを兼ねて入所者同士の交流を図る。 入所者の希望に沿った外出を行う。 施設内に店を呼び、買物を楽しみ社会交流を図る。	装飾等備品代 20,000 入所者飲食代 実費 買い物代 実費		20,000	20,000
11月	寿司行事 家族交流会	中旬	入所者の声を反映した食事提供を行う。 家族との情報交換及び介護技術等の提供を行ない、交流を深める。	入所者食事代 500 × 100 人 家族飲食代 10,000	50,000 10,000		60,000
12月	クリスマス忘年会 年越し	日 31日	フロア毎で企画を立て、入所者・職員の親睦を図る。 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。	入所者食事代 400 × 100 人 装飾等備品代 20,000 飲物・菓子・装飾等代 30,000	40,000	20,000 30,000	90,000
1月	正月 新年餅つき大会	1日 中旬	おせち料理で新年を祝う。 杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。	おせち料理 1,000 × 100 人 もち米他材料代 10,000	100,000 10,000		110,000
2月	節分 昼食行事	3日 中旬	干支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	豆・備品代 10,000 入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000	10,000	35,000
3月	桃の節句	日	大相撲大会	景品・備品代 10,000		10,000	10,000
通年	誕生日会 変わり湯 喫茶 レク用品 園芸用品 職員食事代 備品購入代 予備費	毎月 4回 水・日曜	入所者の誕生日に合わせ、お祝いする。 変わり湯を楽しみ、入浴意欲を高める。 ホフンアイノによる喫茶開催(第1水曜 日) フロアにおける活動費 花壇等の環境整備 外出行事の際の食事代 行事備品(テント等購入)	プレゼント代 1,500 × 100 人 入浴用品代 3,000 × 4 ヶ月 入所者飲物代 実費 レク用品代 10,000 × 2 × 12 ヶ月 園芸用品代 50,000 310 × 30 100,000 100,000	9,300	150,000 12,000 240,000 50,000 100,000 100,000	661,300
合 計					650,800	1,090,000	1,740,800

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

通所リハビリテーションの役割を踏まえ、専門職としての資質向上を目指しながら、利用者が住み慣れた地域や自宅で生活が送れるように今年度は、リハビリや「運動・活動」といったプログラム内容に変化を持たせ、利用者が意欲的に取り組めるサービスの提供ができるように努めていく。

また、在宅生活を支えている家族への支援も大切にし、双方が安心して生活を送ることができるよう支援を行う。

《重点推進課題》

1. 通所リハビリとしての役割を踏まえたサービス

現在の通所のプログラム内容を振り返り、運動のバリエーションや身体を動かす機会を増やし、利用者が住み慣れた地域や自宅で生活が送れるよう、機能の維持・向上を目標とし、個々が意識をして取り組めるサービスの提供・環境作りを目指す。

【指標・評価方法】

- ①リハビリ職員と協議をし、運動や活動のバリエーションを増やす。
- ②提供しているサービスの振り返りを行い、プログラム内容を変更していく。

2. 利用者・家族が安心できる生活

家族・職員間の情報交換をより大切にし、家族から聞いた生活状況を日々のケアに生かし、またその日の通所の様子や専門職として気付いたことを伝えるなどコミュニケーションの機会を増やししながら、自宅・施設内共に大きな事故なく、安心できる生活が送れるよう支援を行う。

【指標・評価方法】

- ①送迎時に家族とコミュニケーションの機会を作り、情報交換を行う。
- ②相談の機会や実際の通所中の様子が見られるよう行事の際に声を掛け施設にお越し頂く機会を作る。また、家族会の開催を検討する。
- ③会議の場以外でも利用者の事を伝え合い、情報を共有する。
- ④施設内の安全については改めてヒヤリハット報告の重要性や提出する基準を再確認し、12件以内の目標設定をしていく。

3. 専門職としての資質向上

施設内研修はもちろん、外部研修にも目を向け、積極的に参加をすることで他施設の方々とも交流の機会を作りながら新しい知識を取り入れ、専門職としての資質向上を目指す。

【指標・評価方法】

- ①1年間を通し、1人1回、外部研修に参加をする。参加後、会議の場で研修内容を伝達する機会を作り、全職員の資質向上を目指す。

年間会議予定

月	会議予定(開催日)	対象職員	会議予定(開催日)	対象職員
通年	デイケア会議(第3木曜日)	デイケア職員	医療事故防止委員会(第3水曜日)	担当職員
	デイケアカンファレンス(第2火曜日)	デイケア職員	接遇向上委員会(第4月曜日)	担当職員
	サービス担当者会議(随時)	支援相談員・常勤職員	研修委員会(第4火曜日)	担当職員
	施設内研修(第4水曜日)	デイケア職員	感染予防委員会(第1水曜日)	担当職員
	主任会議(第1月曜日)	通所主任・通所副主任	新人教育委員会(第2月曜日)	担当職員
	幹部会議(第3水曜日)	通所主任・通所副主任	防災委員会(不定期開催)	担当職員

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	園芸活動	苗植え (きゅうり、ミニトマト)	肥料 600 × 1 苗 3,000		600 3,000	3,600
5月	母の日 変わり湯週間 外出行事	母の日を祝う 雰囲気の違いお風呂を提供する(菖蒲湯) 外食・外出を行う	プレゼント(花) 350 × 50人 15,000 付き添い者食事補助 10,000		17,500 15,000	42,500
6月	父の日 外出行事	父の日を祝う 外食・外出を行う	プレゼント(靴下) 350 × 50人 付き添い者食事補助 10,000	10,000	17,500	27,500
7月	第14回夏祭り	ロータス音更との合同で実施	飾り付け等の備品 10,000 レンタル備品等 90,000 通所者食事代 300 × 30人 ボランティア食事代 500 × 10人	9,000 5,000	10,000 90,000	114,000
8月	調理レク	夏らしい物をご利用者と一緒に作る	100 × 180	18,000		18,000
9月	敬老週間 変わり湯週間	外部ボランティアの余興を開催 雰囲気の違いお風呂を提供する	各種表彰 1,500 × 6人 (H29.2.11現在) 米寿(昭和16年) 1人 喜寿(昭和5年) 3人 白寿(大正8年) 2人 高齢者 0人 ボランティア謝礼 10,000 15,000		9,000 10,000 15,000	34,000
10月	夏の運動会	利用者・職員共に運動会を行う	物品費 10,000		10,000	10,000
11月	漬け物作り	大根を使った漬け物作りを利用者で行う	大根(60本) 6,000 漬物用物品 2,000	6,000 2,000		8,000
12月	Xmas&忘年会 変わり湯週間	職員・外部余興を見ていただく 雰囲気の違いお風呂を提供する(ゆず湯)	ケーキ代 200 × 150人 プレゼント 500 × 90人 飾り付け ボランティアお礼 20,000 15,000	30,000	45,000 20,000 15,000	110,000
1月	餅つき	利用者と餅つきを行う	材料費等	3,000		3,000
2月	節分	豆まきを行う	豆・飾り付け等	3,000		3,000
3月	和洋中セレクトメニュー 変わり湯週間 スライドショー	利用者・職員と一緒に食事を楽しむ 雰囲気の違いお風呂を提供する 1年間の振り返りを行う	15,000 おやつ代 150 × 180人	120,000 27,000	15,000	162,000
通年	レクリエーション制作材料費 誕生日プレゼント代		5,000 × 12ヶ月 1,000 × 100人		60,000 100,000	160,000
予備	予備費					
合 計				243,000	452,600	695,600

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上を目的として、リハビリテーションを行い、住み慣れた家と地域で、利用者、家族が笑顔で在宅生活を送り続ける事が出来るよう支援する。
また、状態に合わせた、適切な福祉用具の選択や住環境整備の提案を行う事で、利用者が最大限の能力を発揮し、生活の質の向上に繋がられるよう支援する。

《重点推進課題》

1、継続した在宅生活への支援

利用者の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案する。安心安全な生活を送れるよう支援する。又、家族への介護指導や不安・心配ごとに耳を傾ける事で在宅生活をより長く継続できるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ① 利用者の状況や家屋状況のみならず、利用者・家族の希望を反映させ、リハビリテーションの目標・プログラムを作成する。
- ② 定期的に利用者の機能や家屋状況(福祉用具も含む)を評価すると共に、カンファレンスを実施し関係部署と情報の共有、プログラム内容の再検討を行う。
- ③ 年1回、利用者・家族へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。
- ④ 施設行事(夏祭り、敬老祝賀会等)への参加案内を出し、利用者が主体的に外出できる機会を提供する。

2、スキルアップを図る

個々の知識技術を高める為、積極的に研修に参加する。他職種との関わりも多い為、幅広い知識を得るよう努める。

【指標・評価方法】

- ① 施設内研修、外部研修の参加状況を集計する。
- ② 外部研修に参加した際は、リハビリ会議等で他スタッフとの知識共有を行う。

あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者、家族が状況に応じた適切な介護サービスを利用して整った環境で在宅生活が継続できるように支援する。

多様なニーズに対して社会資源も含めたサービスを利用者本位で選択できるようにケアマネジメントする。

《重点推進課題》

1. ニーズに応じた個別的支援

利用者の心身機能、病状の経過、家族の介護力をアセスメントし、適切な介護保険サービスが選択できるように支援する。

【指標・評価方法】

- ①利用者、家族の意向を基に医療機関や介護保険情報を総合して分析し、それぞれの利用者、家族にとって適した介護サービス計画書を提案する。
- ②年一回以上の家族会を実施し、家族が抱える在宅介護に対する不安や悩みを話し合う場を設ける。他アンケートを実施し、集計結果を基に次期家族のテーマを検討する

2. 介護支援専門員としてスキルアップの向上に努める

介護支援専門員が各自に面接技術、課題分析能力の向上を目的として研修会、勉強会に参加する。

【指標・評価方法】

- ①各自が参加した勉強会、外部研修で得た知識や情報を他介護支援専門員に周知、提供し年度末に参加回数を集計する。
- ②居宅内で医療知識、介護保険に関して勉強会を開催してスキルアップを目指すと共に年度末に開催回数を集計する。

3. 医療機関との連携、社会資源機能の強化

医療機関への情報提供、共有、収集を必要時には迅速に対応する事で介護保険サービスだけでは補えない課題を地域社会資源へと繋ぐ。

【指標・評価方法】

- ①地域で不足している社会資源や必要な情報について地域ケア会議に参加し、他事業所の介護支援専門員、包括支援センターと話し合う。年度末どのような社会資源を必要であったか、社会資源サービスへと繋ぐことができたかを集計する。
- ②入退院を繰り返したり、重度の疾患のある医療依存度の高い利用者に対して往診や訪問看護、訪問入浴サービスについて情報提供をする。年度末にはどの程度医療系サービスへと繋ぐことができたかを集計する。